

3202 069

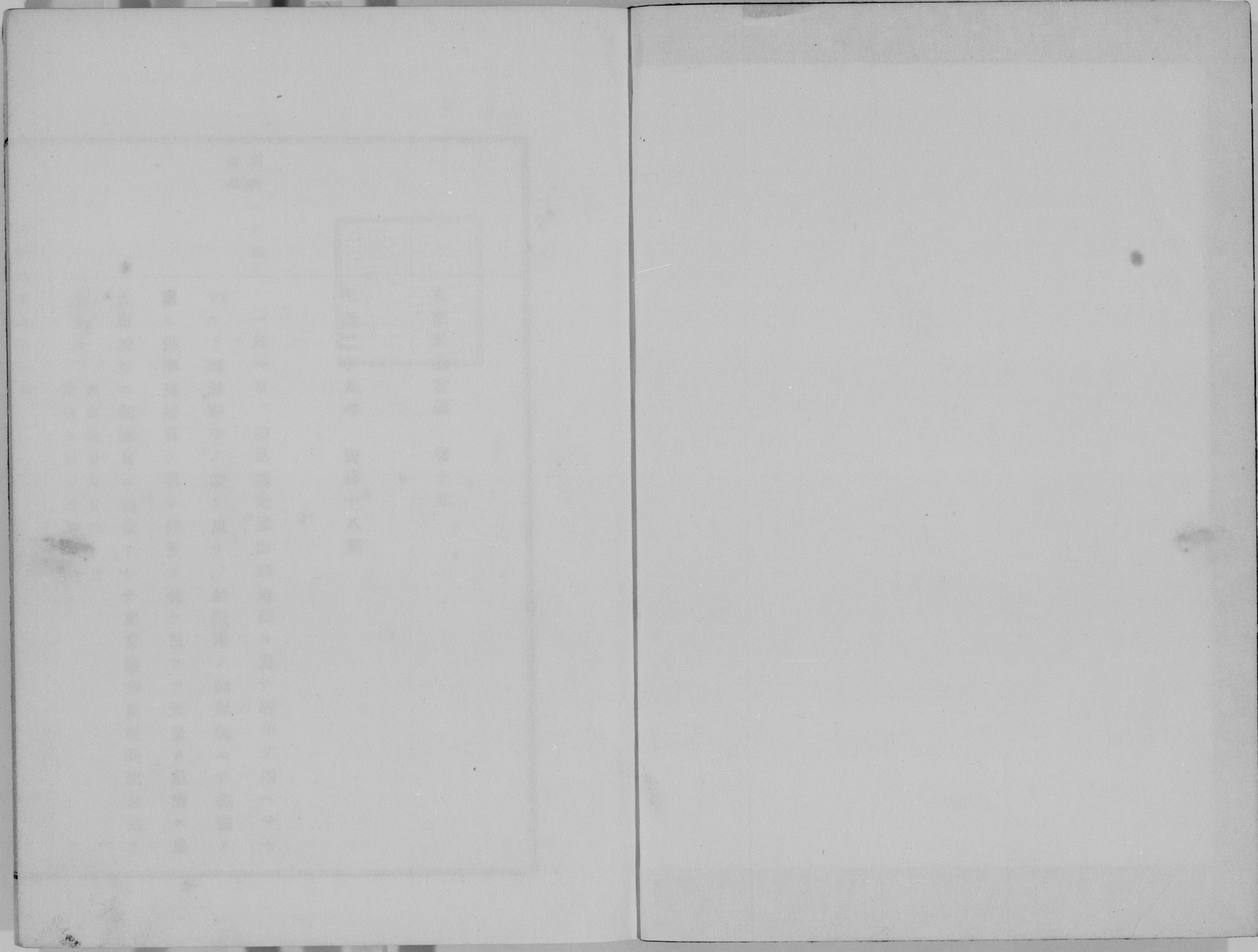
大正天皇實錄 卷十五

圖書寮	
編號	64047
冊數	97
品號	秘 4





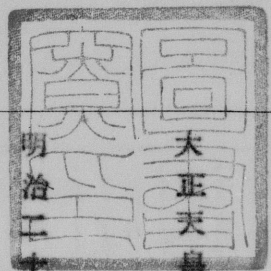
3202 070



3202 070



3202 071



大正天皇實錄 卷十五

明治二十九年 實算十八歲

葉山ニテ御  
越年

一月一日、御轉地先葉山御用邸ニ於テ新年ヲ迎ヘサセラル。御加養中ノ故ヲ以テ、羽織袴ノ御服裝ニテ御座ノ間ニ供奉高等官ヲ召シ拜賀ヲ受ケ給フ。天皇・皇后・皇太后竝ビニ御妹宮ニ御使トシテ東宮職御用掛醍醐忠敬ヲ遣サル。東宮武官長日記・庶務課日記・行啓錄

明治二十九年一月



賢所ニ御代

三日、元始祭ニヨリ東宮侍從稻葉正繩ヲシテ賢所。皇靈殿。神殿ニ代拜セシメラル。因ニ是ノ歳、賢所。皇靈殿。神殿ニ於ケル祭典ニハ何レモ御代拜ヲ遣サル。表示スレバ左ノ如シ。典式錄。官報。

月	日	御祭典	御代拜
一月	卅日	奉明天皇御例祭	東宮侍從 前田青莎
二月	十一日	紀元節御祭典	同
同	廿一日	仁孝天皇五十年御式年祭	東宮武官 名和長憲
三月	廿日	春季皇靈殿神殿祭	東宮侍從 大迫貞武
四月	三日	神武天皇御例祭	東宮侍從 稻葉正繩
六月	八日	三品嘉子内親王尊二十年御式年祭	同

圖書寮

九月	廿二日	秋季皇靈殿神殿祭	東宮職御用掛 殿岡忠敬
十月	十七日	神嘗祭	東宮侍從 前田青莎
十一月	三日	天長節御祭典	東宮侍從子爵 大迫貞武
十二月	六日	後桃園天皇御例祭	東宮侍從 丸尾錦作
同	十二日	光格天皇御例祭	東宮侍從 前田青莎
同	十五日	賢所御神樂	東宮侍從 稻葉正繩

是ノ日、宮城ヨリ皇后宮大夫子爵香川敬三、青山御所ヨリ皇太后宮大夫子爵杉孫七郎新年ノ御使トシテ參候、賜物ヲ奉ル。尋イデ十八日ニハ御使侍從試補日野西資博伺候、天皇ヨリ鈍銅煤竹色提籠形花瓶紹興外七種ヲ、皇后ヨリ紙風琴壹個。同譜巻物壹箱外壹種ヲ賜フ旨ヲ啓ス。爾後、御滞在中屢ニ御使並ビニ賜物ノ事アリ。又どくと



る・免るうゐん・べるつ伺候シ侍醫局長池田謙齋ト共ニ  
拜診ス。爾後、數度べるつ拜診ノ事アリ。武官長日記・  
行啓録・拜診  
録

御講書始

六日、午前九時ヨリ御講書始ヲ行ハセラレ、東宮職御  
用掛川田剛ニ教育勅語ヲ捧讀セシメ、其ノ意義ヲ進講セ  
シメラル。

御修學

因ニ、御加養中ニヨリ、爾後、日課ヲ定メズ、毎日午  
前中約三十分間、剛ヲシテ經典竝ビニ歷代ノ御治績ヲ、  
東宮職御用掛三田守眞ヲシテ萬國地理ノ要領ヲ交々進講  
セシム。後、川田御用掛病氣ヲ得ルニ及ビ、東宮職御用

圖書寮

天皇・皇后  
御風氣ニヨ  
リ電報ニテ  
御機嫌奉伺

御慰ノ爲メ  
覽電・講談  
ヲ御聽聞

掛本居豐頼代リテ國史竝ビニ明倫歌集ヲ進講ス。東宮記  
増補・  
進退録・  
行啓録

十日、天皇・皇后御風氣ノ旨ヲ聞召シ、電報ヲ以テ天  
機竝ビニ御機嫌ヲ候ハセラル。後十五日ニモ亦此ノ事ア  
リ。行啓  
録

十一日、午後一時三十分ヨリ、皇后ガ御慰ノ爲メ特ニ  
遣サレタル琵琶師西幸吉ノ國守・吉野落ノ二曲ヲ御聽聞  
侍醫局長池田謙齋・東宮職御用掛川田剛・御歌所長男爵  
高崎正風ニ陪聽ヲ賜フ。翌十二日夕景ヨリ再ビ幸吉ヲ召  
シ、教盛一曲ヲ聽聞アラセラル。又十七日ニハ午後ヨリ



葉山ヨリ沼津ニ御轉地

講談師桃川如燕ノ荒大名ノ茶湯。水戸黃門記ヲ御聽取アリ、偶々該地滞在中ノ中山慶子ニ陪聽ヲ賜フ。尋イデ十八日ニモ亦同人ノ軍談ヲ聽聞アラセラル。侍從武官日記・行啓錄

十五日、皇太后御違例ニヨリ電報ニテ御機嫌ヲ奉伺アラセラル。行啓錄

二十二日、既ニ葉山御用邸御滞在ノ事、昨年十一月二十五日以來久シキニ涉リ、御保健上更ニ地ヲ轉ズルノ必要アリシヲ以テ、去ル十日宮中顧問官男爵橋本綱常・侍醫局長池田謙齋。どくとる・えるうゐん・べるつ。宮内省御用掛伊東方成等協議スル處アリ。是ノ日午前九時十

圖書寮

御動靜

分葉山御用邸御出門、逗子停車場ヨリ汽車ニ御搭乘、沼津停車場ニ於テ御下車、午後一時五十分沼津御用邸ニ安著アラセラル。途次逗子停車場ニテ威仁親王ニ、大船停車場ニテ皇后御使皇后宮大夫子爵香川敬三ニ、國府津停車場ニテ侯爵中山孝麿ニ謁ヲ賜ヘリ。御安著後、圍碁。撞球ノ御慰アリ、何等御疲勞ノ御様子ヲ拜セズ。是ヨリ御淹留九十餘日、其ノ間、御保養ヲ重ンゼラレタル事續々謹述スルヲ俟タザル處ナレドモ、御動靜ノ一端トシテ主ナルモノヲ載録シ奉レバ、概ネ海濱御遊歩ヲ行ハセラレ、然ラザル時ハ侍醫局長池田謙齋ノ啓ニヨリ、柔軟體操ヲ



以テ之ニ代ヘサセラル。又三島町ナル小松宮別邸ニ遊ビ給ヘル事兩三度アリ。其ノ他二月十二日ノ如キ原町ニ於テ鬼狩ヲ御催アリ、同二十八日ニハ瓜島ニ於テ棋遊ニ御慰アリ、三月九日ニハ官幣大社三島神社ニ御參拜等ノ事アリ。時ニハ又松林伯圓ノ講談、或ハ西幸吉ノ薩摩琵琶ヲ御聽取ノ事等アリ。

斯ク葉山御用邸御轉地以來、御保養ニツトメサセラレタルヲ以テ、一月三十日池田謙齋・どくとる・べるつ拜診ニ際シテハ、御左肺ノ水泡音ハ至極少數ト爲リ、御右肺ハ全ク音響ヲ拜セザルニ至リ、御體量モ十一貫二百六

流行性感冒  
ニ罹ラセラル

十奴ニ達シ、經過頗ル御順調ニ涉セラレシガ、偶々二月十五日輕微ナル御風氣ニテ兩三日御假床ノ事アリ、尋イデ三月十日御體温ヤヤ昇騰シ、御喉頭少シク充血アラセラレ、遂ニ流行性感冒ニ罹ラセラル。天皇・皇后・皇太后ノ御軫念アラセラルル事深ク、屢々侍臣ヲ遣シテ御尋アリ、特ニ御轉地先ノ故ヲ以テ侍醫ノ手薄キヲ思召シ、侍醫高階經本・同桂秀馬・侍醫局勤務鈴木金之助ヲ交シ派シテ拜診セシメ給フ。或ハ掌典長公爵九條道孝ニ命ジ、伊勢兩宮ニ祈禱ヲ行ハシメラレタリ。道孝御内意ヲ奉ジ、三月二十日兩宮ノ御麻竝ビニ御玉串



還啓

御歸京ニヨ  
リ參内

ヲ奉ル。斯カル間ニ御違例漸ク御順快ノ徵アリ、二十六日頃ヨリハ園藝・將菜等ノ御慰ヲ試ミ給フニ至リ、四月九日ヨリ御庭ニテ日光浴ヲ始メサセラレ、十八日御撤床アリ。其ノ後週餘ニシテ御異狀無キヲ以テ二十五日降雨ニカカハラズ午前九時四十分沼津御用邸御出門、沼津停車場ヨリ汽車ニ御搭乘、新橋停車場ニテ御下車、午後四時二十六分御機嫌ヨク東宮御所ニ還啓アラセラル。尋イデ二十六日、午前十時御出門參内、天皇・皇后ニ謁シ、病中ノ恩ヲ奏啓、午後零時二十分還啓アラセラル。猶ホ青山御所ニハ二十八日御庭傳ニテ參候、皇太后ニ謁シ同

圖書寮

供奉員

ジク啓セラルル處アリ。是ノ日、天皇・皇后ニ五種交魚壹折、皇太后ニ三種交魚壹折ヲ進獻セラル。因ニ沼津行啓中供奉ヲ命ゼラレタル者ハ、東宮大夫男爵黒川通軌・東宮亮足立正聲・東宮侍從稻葉正繩・同大迫貞武・同前田青莎・同丸尾錦作・東宮武官鶴見數馬・同名和長憲・同公爵鷹司照通・宮中顧問官男爵橋本綱常・宮内省御用掛伊東方成・東宮職御用掛醍醐忠敬・同川田剛・同本居豐頼・侍醫池田謙齋・同岡玄卿・同伊勢鏡五郎・同高階經本・同桂秀馬・侍醫局勤務池田棟三郎・同鈴木金之助・東宮職出仕北小路清・同甘露寺受長・同海



川田剛亮去  
ニヨリ祭  
料下期

江田幸吉・同建部光麿・同子爵酒井忠勇・同子爵土屋正直等ナリ。此ノ外一月二十二日葉山御用邸ヨリ沼津御用邸ニ行啓ニ當リ侍從子爵西四辻公業ハ聖旨ヲ奉ジテ供奉セリ。東宮武官長日記・東宮侍從東宮武官日記・行啓録・官報・皇親錄・侍從職日記・皇后宮職日記・皇太后宮職日記・拜診録・桂侍醫摘

二月二日、東宮職御用掛宮中顧問官從三位勳四等文學博士川田剛亮去ノ趣ヲ聞召シ、哀悼ノ電報ヲ發送セシメ尋イテ祭料金五百圓ヲ賜フ。

剛、號ハ龜江、備中ノ人ナリ。朱子學ヲ修メ豫テ明清諸家ニ涉リ、博ク經史百家ニ通ジ、傍ラ國學ヲモ辯ズ。

圖書寮

紀元節

殊ニ文章ニ長ジ明治漢文壇ノ宗主ト稱セラル。明治十四年以來宮内省ニ勳仕シ、譜陵頭。宮中顧問官等ニ歷任シ、十八年、命ニ依リテ明宮新御殿ノ御座ノ間。客ノ間ノ各屏障歴史畫ノ圖解書壹冊ヲ謹記シ、又二十六年ヨリ東宮職御用掛トナリ、學習院並ビニ東宮御學問所ニ於テ御教授ニ當レリ。行啓録・贈賜録・官報

十一日、紀元節ニヨリ供奉高等官一同ノ拜賀ヲ受ケサセラレ、一同ニ酒饌ヲ賜フ。又天皇・皇后・皇太后ニ電報ヲ以テ祝詞ヲ奏啓アラセラル。行啓録

十三日、御使權典侍柳原愛子沼津御用邸ニ伺候、天皇



皇后ノ賜物ヲ捧グ。就中、天皇ノ賜ヘル黒御羽織壹枚。御綿入壹襲ハ埼玉縣人ニシテ當年八十八歳ニ達セル嫗ノ調進セル布地ニテ作ラセラルル處ノモノナリ。行啓録・武官長日記

三月二日、休職判事從五位三島毅ヲ東宮職御用掛ト爲ス。進退録・官員進退録・官報

五日、天機竝ビニ皇后。皇太后ノ御機嫌奉伺ノ爲メ東宮侍從大迫貞武ヲ宮城及ビ葉山御用邸ニ遣サル。又同人ヲ御妹昌子。房子。允子三内親王ノ許ニ遣シ御機嫌ヲ訪ハシメラル。東宮武官日記・行啓録・御直官御養育掛日記

圖書寮

天皇御風氣ニヨリ電報ニテ奉伺

三十一日、天皇御風氣ニテ御假床ノ趣ヲ開召シ直ニ電報ヲ以テ天機ヲ奉伺アラセラル。尋イデ四月四日東宮侍從前田青莎ヲ宮城ニ遣シ、御見舞品ヲ進獻アラセラル。行啓録・侍從職日記

四月二十九日、午前十時御出門、久々ニテ演離宮ニ行啓、午後三時七分還啓アラセラル。此ノ後、六月二十一日。七月十二日。十月十八日ニモ亦行啓ノ事アリ。東宮武官日記・行啓録・官報

中山孝磨邸ニ行啓

五月一日、午後一時御出門、麹町區有樂町候爵中山孝磨邸ニ行啓、孝磨ニ白絹緞壹反。酒肴料金五拾圓ヲ賜ヒ、



家族ニモ亦賜物アリ。四時五分還啓アラセラル。此ノ後、諸家ニ行啓アラセラル事屢ナリ。表示スレバ左ノ如シ。東宮侍從東宮武官日記・庶務課日記・官報・行啓録

月日	御出門	還啓時間	行啓地	御慰	賜物	獻上品
五月十八日	午後零時卅分	同五時廿八分	荏原郡 目黒村	能狂言 手品	酒肴料百圓 白繻壹疋	助光作 短刀等
同廿八日	同 一時 六時	同 一時 五分	小石川 區林町	軍 戲	同 百圓	
六月七日	同 一時 五分	同 一時 五分	赤坂區 麻布區 官村町	能狂言	同 百圓 壹疋	
同廿四日	同 一時 卅分	同 一時 卅分	麻布區 官村町	球 乘	同 百圓	
七月十九日	同 一時 卅分	同 一時 卅分	伯耆 佐野常民邸	席書 簾	同 百圓	清則作 短刀等

圖書寮

伊藤博文短刀ヲ獻ル  
南豐島御料地ニ行啓

月日	時間	行啓地	御慰	賜物	獻上品
十月十二日	午前 十時 午後四時十五分	總町區 正二位中山慶子邸		同百圓・紅白繻壹疋宛	
<p>二日、内閣總理大臣侯爵伊藤博文ニ謁ヲ賜フ。博文御所望アリシ短刀<small>備前景光作</small>壹振ヲ獻ル。東宮侍從東宮武官日記</p> <p>三日、午前十時御出門、南豐島御料地ノ内字新宿ニ行啓、植物園ヲ御巡覽、午後二時四十分還啓アラセラル。爾後、南豐島御料地ニ行啓ノ事屢ナリ、表示スレバ左ノ如シ。東宮侍從東宮武官日記・行啓録・官報</p>					
五月五日		南豐島御料地之内字代々木			
六月廿八日		同			新宿
十月四日		同			同



家族ニモ亦賜物アリ。四時五分還啓アラセラル。此ノ諸家ニ行啓アラセラルル事屢ナリ。表示スレバ左ノシ。東宮侍從東宮武官日記・廬跡日記・官報・行啓録

月日	御出門	還啓時間	行啓地	御獻	賜物	獻上品
五月十八日	午後零時卅分	同	荏原郡 俣野西郷從道別邸	能狂言	酒肴料百圓	助光作
同廿八日	同	同	小石川 區林町 伯備士方久元邸	軍談	白綿調壹疋	短刀等
六月七日	同	同	赤坂區 公傳九條道孝邸	能狂言	同	
同廿四日	同	同	麻布區 伯備井上邸	球乘	同	團光作
同	同	同	官村町 伯備佐野常民邸	經乘	同	短刀等
七月十九日	同	同	龜町區 三年町	席書揮	同	清則作

伊藤博文短刀ヲ獻ル  
兩豐島御料地ニ行啓

十月十日 午前十時 總町區 正二位中山慶子邸  
午後四時五十分 有樂町

一二日、内閣總理大臣侯爵伊藤博文ニ謁ヲ賜フ。博文所置アリシ短刀備前景光作壹振ヲ獻ル。東宮侍從東宮武官日記

三日、午前十時御出門、兩豐島御料地ノ内字新宿ニ行啓、植物園ヲ御巡覽、午後二時四十分還啓アラセラル。爾後、兩豐島御料地ニ行啓ノ事屢ナリ、表示スレバ左ノ如シ。東宮侍從東宮武官日記・行啓録・官報

五月五日 兩豐島御料地之内字代々木  
六月廿八日 同 新宿  
十月四日 同 同



△第〇台ヨリ

飛鳥山遊御  
遊覽

十月廿五日 兩豐島御料地之内字代々木  
十一月廿二日 同 新宿

泰宮場子内  
親王誕生

十日、午前十時御出門、王子村飛鳥山遊ニ行啓、御遊覽アリ、近傍ナル印刷局抄紙部ニ於テ晝餐アラセラル。午後ヨリ瀧ノ川邊ヲ御遊覽、二時五十五分還啓アラセラル。東宮侍從東宮武官日記・行啓録・官報  
十一日、午後八時禮典侍園祥子、第九皇女子ヲ産ミ奉ルヲ以テ、東宮侍從稻葉正繩ヲ御産所ニ遣サル。尋イデ十七日御命名ノ儀アリ、名ヲ聰子ト賜ヒ泰宮ト稱セラル。仍リテ午前九時三十分御出門參内、祝詞ヲ奏シ十一時三

圖書寮

皇后ト共ニ  
各種美術展  
覽會ヲ台覽

十分還啓アラセラル。猶ホ、賢所奉告祭ニハ御代拜トシテ東宮侍從前田青莎ヲ遣シ、天皇・皇后・皇太后ニ祝品ヲ進獻、御妹宮及ビ新宮ニモ祝品ヲ進ゼラル。東宮侍從日記・侍從職日録・重要編録・行啓録・官報  
十五日、午後一時御出門、上野公園内日本美術協會主催ノ春季美術展覽會ニ行啓、皇后ノ御著ヲ奉迎ノ後、皇后ニ隨ヒテ陳列品ヲ御巡覽、畢リテ便殿ニ於テ御休憩、荒木古董ノ尺八三曲合奏ヲ聽カセラル。夫ヨリ更ニ御同車ニテ明治美術會主催ノ油繪彫刻展覽會竝ビニ之ニ隣セル大日本撰書獎勵會第六回撰書會ニ御立寄、場内ヲ御巡



△第〇台マダ

飛鳥山邊御遊覽

泰宮賜子内親王誕生

十月廿五日 兩豐島御料地之内字代々木  
十一月廿二日 同 新宿

十日、午前十時御出門、王子村飛鳥山邊ニ行啓、御遊覽アリ、近傍ナル印刷局抄紙部ニ於テ晝餐アラセラル。午後ヨリ瀧ノ川邊ヲ御遊覽、二時五十五分還啓アラセラ。東宮侍從東宮武官日記・行啓録・官報  
十一日、午後八時權典侍園祥子、第九皇女子ヲ産ミ奉ルヲ以テ、東宮侍從稻葉正繩ヲ御産所ニ遣サル。尋イデ十七日御命名ノ儀アリ、名ヲ聰子ト賜ヒ泰宮ト稱セラル。仍リテ午前九時三十分御出門參内、祝詞ヲ奏シ十一時三

皇后ト共ニ各種美術展覽會ヲ台覽

十分還啓アラセラル。猶ホ、賢所奉告祭ニハ御代拜トシテ東宮侍從前田青莎ヲ遣シ、天皇。皇后。皇太后ニ祝品ヲ進獻、御妹宮及ビ新宮ニモ祝品ヲ進ゼラル。東宮侍從日記・侍從職日録・重要雜錄・行啓録・官報  
十五日、午後一時御出門、上野公園内日本美術協會主催ノ春季美術展覽會ニ行啓、皇后ノ御著ヲ奉迎ノ後、皇后ニ隨ヒテ陳列品ヲ御巡覽、畢リテ便殿ニ於テ御休憩、荒木古童ノ尺八三曲合奏ヲ聽カセラル。夫ヨリ更ニ御同車ニテ明治美術會主催ノ油繪彫刻展覽會並ビニ之ニ隣セル大日本撰書獎勵會第六回撰書會ニ御立寄、場内ヲ御巡



飛鳥山邊御遊覽

十月廿五日 南豐島御料地之内字代々木  
十一月廿二日 同 新宿

十日、午前十時御出門、王子村飛鳥山邊ニ行啓、御遊覽アリ、近傍ナル印刷局抄紙部ニ於テ晝餐アラセラル。午後ヨリ瀧ノ川邊ヲ御遊覽、二時五十五分還啓アラセラル。東宮侍從東宮武官日記・行啓録・官報

十一日、午後八時權典侍園祥子、第九皇女子ヲ産ミ奉ルヲ以テ、東宮侍從稻葉正繩ヲ御産所ニ遣サル。尋イデ十七日御命名ノ儀アリ、名ヲ聰子ト賜ヒ泰宮ト稱セラル、仍リテ午前九時三十分御出門參内、祝詞ヲ奏シ十一時三

泰宮嬪子内親王誕生

圖書寮

御誕生

皇后ト共ニ各種美術展覽會ヲ台覽

十分還啓アラセラル。猶ホ、賢所奉告祭ニハ御代拜トシテ東宮侍從前田青莎ヲ遣シ、天皇・皇后・皇太后ニ祝品ヲ進獻、御妹宮及ビ新宮ニモ祝品ヲ進ゼラル。東宮侍從日記・侍從職日録・重要雜錄・行啓録・官報  
十五日、午後一時御出門、上野公園内日本美術協會主催ノ春季美術展覽會ニ行啓、皇后ノ御著ヲ奉迎ノ後、皇后ニ隨ヒテ陳列品ヲ御巡覽、畢リテ便殿ニ於テ御休憩、荒木古董ノ尺八三曲合奏ヲ聽カセラル。夫ヨリ更ニ御同車ニテ明治美術會主催ノ油繪彫刻展覽會並ビニ之ニ隣セル大日本撰書獎勵會第六回撰書會ニ御立寄、場内ヲ御巡



△ 常侍官ノ不  
寝奉仕ヲ止

覽アリ、五時五十五分還啓アラセラル。是ノ日、日本美術協會並ビニ明治美術會ニ各金五拾圓ヲ賜フ。又十一月八日ニハ午後一時御出門ニテ、日本美術協會秋季美術展覽會場ニ行啓アリ、歸途、動物園ヲ經テ四時五分還啓アラセラレタリ。官報・東宮侍從東宮武官日記  
記・行啓錄・皇后宮職日記

十六日、昨年八月十一日御重患以後、常侍官交互不寝ニ奉仕セシガ、既ニ御平常ニ復セラレ其ノ必要ナキヲ以テ、之ヲ止メラル。尋イデ八月九日、御遠例中不寝番勤務ニ奉仕セシ東宮職御用掛醍醐忠敬・東宮侍從稻葉正繩同前田青莎・同子爵大迫貞武・東宮武官名和長憲・同鶴

圖書寮

伊藤博文大  
磯別邸ニ行

見數馬。同公爵鷹司照通ニ御紋附木杯壹組。金五拾圓宛ヲ賜フ。猶ホ、東宮侍從丸尾錦作ニモ後日之ヲ賜ヘリ。東宮侍從東宮武官日記  
記・行啓錄・贈賜錄

十九日、自今毎土曜日午前九時三十分御出門、參内アラセラル旨ヲ定メラル。例規  
錄

二十四日、午前七時三十分御出門、新橋停車場ヨリ汽車ニ御搭乘、大磯停車場ニテ御下車、内閣總理大臣侯爵伊藤博文別邸ニ行啓アラセラル。海濱御散歩ノ後、晝餐アリ、更ニ警察官ノ擊劍ヲ台覽、親シク大弓ヲ試ミ給ヒ、午後五時二十分還啓アラセラル。是ノ日、博文ニ白縮緬



御常服ノ制

壹疋。酒肴料金百圓ヲ賜ヒ、家族一同ニモ亦賜物アリ。  
東宮侍從東宮武官日記・庶務課日記・官報・行啓録  
 三十一日、午前九時三十分御出門參内、歸途、荏原郡入新井村大日本帝國小銃射的協會ニ行啓、競點射的ヲ台覽、午後六時十五分還啓アラセラル。是ノ日、同會ニ金五拾圓ヲ賜フ。  
東宮侍從東宮武官日記・庶務課日記・官報・行啓録・侍從職日記  
 六月三日、從來御使用ノ學習院學生服ヲ止メ、報慮ニヨリ外出ニハ總ベテ軍服ヲ、常服ニハふろつくこーと、又ハもーにんぐこーとノ内適意ニ御着用アラセラルベキコトニ決ス。  
東宮侍從東宮武官日記

近衛歩兵第一聯隊ニ行啓

東宮職ニ東宮侍講ヲ設

是ノ日、午後一時御出門、近衛歩兵第一聯隊ニ行啓、近衛歩兵第一旅團長陸軍少將男爵川村景明。同第一聯隊長陸軍歩兵大佐小島政則以下ノ奉迎ヲ受ケサセラレ、將校集會所ニ於テ參謀總長陸軍大將彰仁親王ニ御對面、海軍大將伯爵樺山資紀。陸軍中將子爵佐久間左馬太等ニ謁ヲ賜フ。尋イデ角力ヲ台覽、又臺灣征討軍歌ヲ聽キ給ヒ、五時二十五分還啓アラセラル。猶ホ聯隊ニ酒肴料金百圓ヲ賜ヘリ。  
東宮侍從東宮武官日記・行啓録・官報  
 十一日、東宮職官制中ニ、東宮侍講ノ一項ヲ加フ。東宮侍講ハ定員ヲ五名トシ、侍讀。進講シテ御學徳ノ涵養



ヲ掌ルヲ以テ任務トス。十六日從六位本居豐頼。休職判  
事從五位三島毅ヲ、十月二十日學習院教授正七位三田守  
眞ヲ之ニ任ズ。總務課退録  
官報・例規錄

大宮ニ行啓

十二日、午前八時二十分御出門、侍從職幹事公爵岩倉  
具定。東宮亮足立正聲以下ヲ隨へ、御微行ニテ上野停車  
場ヨリ汽車ニ御搭乘、大宮停車場ニ御下車、直ニ人力車  
ニテ官幣大社氷川神社ニ行啓、幣帛料ヲ供へシメ、宮司  
伊藤景裕ノ先導ニテ御參拜ノ後、社頭ニ稚松ヲ御手植ア  
リ。赤鳥居前ニ於テ埼玉縣尋常師範學校生徒ノ騎兵射的。  
徒歩競走。綱引等ヲ台覽アラセラル。午後、埼玉縣知事

氷川神社ニ  
御參拜

男爵千家尊福ニ先導セシメ大宮公園ニ到リ、園ノ東隅鷹  
止ノ松附近ニ於テ御少憩アリ。尋イデ公木樓脇ニテ大宮  
尋常高等小學校兒童ノ綱引ヲ、萬松樓前ニテ大砂土尋常  
高等小學校兒童ノ兵式體操ヲ、中央圓山ニテ明信館員ノ  
擊劍ヲ、藤ノ戸前ニテ埼玉縣師範學校生徒ノ遊戲運動ヲ  
台覽、四時五分大宮停車場御發車、五時四十分還啓アラ  
セラル。

是ノ日、供奉ノ東宮侍講三島毅ハ、台旨ニ應ジテ一詩  
ヲ賦シテ曰ク、

六月十二日扈從遊大宮 應教賦此



御内宴

文武修學暇 遊豫代藥餌 薰風夏六月 鶴駕辱陪侍  
 黃麥猶棲飲 水田秧抽翠 行說稼穡難 遂及無逸戒  
 駐駕大宮驛 新樹尤幽遶 古廟祀素尊 千歲武威貴  
 手栽松一株 永表敬神意 遠近相傳聞 學童爭奮至  
 擊劍又操銃 或爲騎射戲 玉顏含笑觀 獎勵忠勇志  
 雖曰行樂遊 亦是無非事

ト。克ク御勅靜ヲ彷彿セシムルモノアルベシ。東宮侍從  
 日記・行啓錄・官報  
 埼玉縣行幸啓記  
 十六日、午後七時宮内大臣伯爵土方久元以下二十餘名  
 ヲ赤坂離宮ニ召シテ陪食ヲ賜フ。尋イデ十九日ニハ正午

圖書寮

陸軍乘馬學校ニ行啓

東宮大夫男爵黒川通軌以下十九名ニ陪食ヲ賜ヘリ。東宮侍從  
 記・典式錄  
 十七日、午後一時御出門、高輪御殿ニ行啓、御妹昌子。  
 房子兩内親王ニ御對面、五時三十五分還啓アラセラル。  
 東宮侍從東宮武官日記・行啓錄・庶務課日記・官報  
 二十二日、午前八時御出門、陸軍乘馬學校ニ行啓、校  
 長代理陸軍騎兵大尉白石千代太郎ノ先導ニテ、古馬運動。  
 各種技藝運動其ノ他ヲ台覽、將校以下生徒一同ニ金五拾  
 圓ヲ賜ヒ、十一時二十五分還啓アラセラル。東宮侍從東  
 宮武官日記  
 行啓錄・官報



開院宮邸ニ  
行啓

七月二日、午後一時御出門、芝公園内ナル開院宮邸ニ  
行啓、四時二十分還啓アリ。後、十二月十三日ニハ伏見  
宮邸ニ行啓、銃槍・狂言ヲ台覽アラセラル。東宮侍從東  
宮武官日記  
庶務課日記・  
行啓録・官報

芝離宮ニ行  
啓

五日、午前八時御出門、芝離宮ニ行啓、午後五時三十  
分還啓アラセラル。コノ後二十三日ニモ亦行啓ノ事アリ。  
東宮侍從東宮武官日  
記・行啓録・官報  
九日、午後一時御出門、上野公園内日本美術協會列品  
館ニテ開催中ノ明治二十七八年戦役實況油繪展覽會ニ行  
啓、歸途、帝國博物館ニ御立寄アリ、四時五分還啓アラ

乘馬天覽ニ  
陪ス

セラル。東宮侍從東宮武官日  
記・行啓録・官報

十四日、午前十時ヨリ赤坂離宮内馬場ニテ陸軍將校佐  
官以上ノ者ノ乘馬ヲ天覽アラセラルルニ陪シ、晝餐及ビ  
夕餐ヲ僊錦閣ニテ御會食アリ、午後六時十分還啓アラセ  
ラル。後、十二月十日ニモ亦天覽乘馬ヲ陪覽ノ事アリ。  
東宮侍從東宮武官  
日記・侍從職日記  
十五日、午前九時赤坂離宮ニテ學習院ノ卒業證書授與  
式ヲ舉行スルニヨリ御臨場、九時三十分還啓アラセラル。  
東宮侍從東宮武官日  
記・行啓録・官報  
二十六日、午前九時御出門、帝國大學植物園ニ行啓、



開院官邸ニ  
行啓

七月二日、午後一時御出門、芝公園内ナル開院官邸ニ  
行啓、四時二十分還啓アリ。後、十二月十三日ニハ伏見  
宮邸ニ行啓、銃槍・狂言ヲ台覽アラセラル。東宮侍從東  
宮武官日記  
庶務課日記・  
行啓録・官報

芝離宮ニ行  
啓

五日、午前八時御出門、芝離宮ニ行啓、午後五時三十  
分還啓アラセラル。コノ後二十三日ニモ亦行啓ノ事アリ。  
東宮侍從東宮武官日  
記・行啓録・官報  
九日、午後一時御出門、上野公園内日本美術協會列品  
館ニテ開催中ノ明治二十七八年戦役實況油繪展覽會ニ行  
啓、歸途、帝國博物館ニ御立寄アリ、四時五分還啓アラ

乘馬天覽ニ  
陪ス

セラル。東宮侍從東宮武官日  
記・行啓録・官報

十四日、午前十時ヨリ赤坂離宮内馬場ニテ陸軍將校佐  
官以上ノ者ノ乘馬ヲ天覽アラセラルルニ陪シ、晝餐及ビ  
夕餐ヲ僊錦閣ニテ御會食アリ、午後六時十分還啓アラセ  
ラル。後、十二月十日ニモ亦天覽乘馬ヲ陪覽ノ事アリ。  
東宮侍從東宮武官  
日記・侍從職日記  
十五日、午前九時赤坂離宮ニテ學習院ノ卒業證書授與  
式ヲ舉行スルニヨリ御臨場、九時三十分還啓アラセラル。  
東宮侍從東宮武官日  
記・行啓録・官報  
二十六日、午前九時御出門、帝國大學植物園ニ行啓、



日光ニ御轉地

午後四時三十分還啓アラセラル。東宮侍從東宮武官日記・行啓録・官報

二十八日、午前八時二十分御出門、上野停車場ヨリ汽車ニ御搭乘、宇都宮停車場ニテ御少憩、栃木縣知事佐藤暢以下ノ奉迎ヲ受ケ給ヒ、午後二時二十分日光停車場ニ御下車、偶々該地滞在中ノ成久王・輝久王ニ御對面、三時日光御用邸ニ安著アラセラル。是ヨリ先、今市御通過ノ際、沿道ニ白髮ノ一老ノ奉迎スルヲ覽給ヒ、後、侍臣ヲシテ其ノ姓名・年齢ヲ問ハシメラルルニ、關根矢作ト稱シ齡九十四歳ニ達シ、誠心君國ヲ思ヒ、温厚篤實ニシテ、人ノ師表ト仰ガレ、殊ニ壯年ノ頃ヨリ殖林ノ業ヲ勤

御仁慈

圖書寮

メ、世ヲ益スルトコロ博ク、曩ニ綠綬褒章ヲ授與セラレタル者ナリト啓ス。即チ其ノ老ヲ憫ミ御携帯ノ竹杖ヲ賜フ。爾後、九月二十五日マデ五十六日間御淹留アリ。

其ノ間、別格官幣社東照宮ヲ始メトシ、國幣中社二荒山神社。輪王寺。大猷廟。三佛堂。中宮祠。華嚴瀧。裏見瀧。霧降瀧。寂光瀧。素麵瀧。小倉山御料地。含滿瀧。日光公園。保晃會庭園。田母澤園等神社佛閣名勝ノ地ニ行啓アリ。或ハ北白川宮別邸。中山慶子ノ寓居ナル教光院。男爵三宮義胤ノ別邸等ニ御立寄ノ事アリ。就中、東照宮竝ビニ二荒神社兩境内ニハ還啓ノ前日即チ九月二十



中宮祠行啓

五日御道邊ノ際前者ニ樅。眞木ヲ、後者ニ梅。松ヲ御手植アラセラル。又、八月二十一日ニハ中宮祠ニ行啓アリ、東宮大夫男爵黒川通軌以下ヲ隨ヘ午前七時日光御用邸ヲ御出門、人力車ニテ馬返ニ到リ御休憩ノ後、御徒歩ニテ般若。方等。華嚴ノ各瀧ヲ觀給ヒツツ劍ヶ峰ニ登リ、十一時七分二荒山神社中宮祠社務所ニ著キ憩ハセラルル事暫時、午後二時ヨリ歌ヶ濱ヲ御道邊ノ後、船ニテ社務所ニ御歸還、一泊アラセラル。二十二日ニハ二荒山神社ニ御參拜アリ、立木觀音堂ニ臨ミ、更ニ人力車ニテ湯元温泉ニ到ラセラル。其ノ途、龍頭ノ瀧ヲ御覽アリ、地獄茶

屋ニテ憩ヒ、湯元ニテハ松本半左衛門宅ニテ御少憩、湯ノ湖ニテ投網ノ御慰アリ。御歸途萬蒲ヶ濱ヲ經テ午後二時三十分再ビ社務所ニ御歸還、更ニ一泊ヲ重ネ給ヒ、二十三日ニモ船ニテ對岸ノ寺ヶ崎邊ニ到リ暫時御道邊アリ。午後二時社務所御出門ニテ日光御用邸ニ還啓アラセラル。其ノ途次、中ノ茶屋ニテ御少憩アリ、阿含瀧ヲ觀給ヘリ。斯ク御淹留中ハ御保養ヲ旨トシ給ヒ概ネ各處ニ行啓アリ、時ニハ乘馬ニテ試ミ給フ事亦屢ナリシガ、御健康ノ御恢復ニ伴ヒ八月二十四日以降ハ、概ネ日々東宮侍講三島毅。同本居豐顯竝ビニ東宮職御用掛三田守眞。同細



川洞次郎等ヲ召シ、午前中國史・萬國地理・佛蘭西語其ノ他ヲ進講セシメ、午後ヨリ近郊各地ニ出デサセラル。其ノ間八月二十六日ニハ御審ヲ天皇・皇后ニ上リ給ヒテ起居ヲ奏啓、九月九日ニハ連日ノ豪雨ニヨリ電報ヲ以テ天機竝ビニ御機嫌ヲ候ハセラル。蓋シ御孝養ノ御一端ヲ拜スベシ。又天皇ハ御淹留中、侍従子爵西四辻公業・侍從廣幡忠朝ヲ毎週二回遣シ給ヒ種々御尋アリ、皇后・皇太后モ亦侍臣ヲ時々參邸セシメラレシガ、殊ニ皇后ハ權典侍柳原愛子ヲ御使トシテ物ヲ賜ヒ、御動靜ヲ啓セシメラル。猶ホ恒久王・成久王・輝久王ハ偶々別邸ニ滞在中

還 啓

ナルヲ以テ屢々參邸アリ、或ハ御遊歩ニ伴ハセラレ或ハ御會食アリ、又、彰仁親王・依仁親王ニモ御對面ノ事アリ。其ノ他參邸セル中山慶子・侯爵鍋島直大・同中山孝唐・伯爵松浦詮ニハ午餐ノ陪食ヲ賜ヘリ。又八月十三日ニハ特ニ午後六時ヨリ内宴ヲ催シ給ヒ供奉員一同ヲ之ニ陪セシメ勞ヲ犒ハセラレタリ。

斯クテ御淹留中一回モ御假床アラセラレズ御機嫌麗シク過サセ給ヒ、九月二十六日午前八時三十分日光御用邸ヲ御出門、東宮御所ニ還啓アラセラル。之ニ先ダチ午前八時御用邸ニ於テ栃木縣知事佐藤暢・栃木縣警部長平岡



定太郎ニ謁ヲ賜ヒ、又日光停車場ニ於テハ別格官幣社東照宮宮司松平定敬・國幣中社二荒山神社宮司渡部邁・輪王寺門跡大僧正彦坂謙厚等ノ奉送ヲ受ケサセラレ、上野停車場ニテハ御出迎ノ彰仁親王・貞愛親王・載仁親王ニ御對面、奉迎諸臣ニ謁ヲ賜フ。午後二時五分東宮御所ニ著カセラルルヤ、皇后御使典侍高倉壽子・皇太后御使子爵杉孫七郎及ビ典侍萬里小路幸子、昌子・房子兩内親王御使伯爵佐々木高行・允子内親王御使子爵林友幸・侯爵中山孝麿等ニ謁ヲ賜フ。尋イデ二十七日參内竝ビニ青山御所ニ參候天皇・皇后・皇太后ニ謁シ奏啓アラセラルル

供奉員

處アリ。

猶ホ御淹留中供奉ヲ命ゼラレタル者ハ、東宮大夫男爵黒川通軌・東宮亮足立正聲・東宮侍從稻葉正繩・同丸尾錦作・同前田青莎・同子爵大迫貞武・東宮武官鶴見數馬・同名和長憲・同公爵藤司照通・東宮侍講三島毅・同本居豐頼・東宮職御用掛醍醐忠敬・同三田守眞・侍醫池田謙齋・同桂秀馬・同伊勢鏡五郎・侍醫局勤務池邊棟三郎・東宮職出仕北小路清・同海江田幸吉・同甘露寺受長・同建部光麿・同子爵土屋正直・同子爵酒井忠勇等ナリ。  
東宮侍從東宮武官日記・行啓錄・侍從職日録・皇太后宮職日記・皇太后宮職日記・拜診錄・官報



守正王ノ負傷ヲ尋ネ給フ

八月十六日、守正王、廣島ニ於テ負傷ノ報アリ。仍リテ電報ヲ以テ存問アラセラル。即日、王ヨリ拜謝ノ返電アリ。行啓録

故能久親王妃富子ノ病ヲ尋ネ給フ

九月二日、故能久親王妃富子病ノ旨ヲ聞召シ、侍醫池田謙齋ヲ遣シ存問アラセラル。行啓録

十九日、從來御教授ヲ擔任セル東宮職御用掛阪彪太郎・同菱田爲吉ヲ免ジ、兩名ヲ自今、學習院ヨリ交互ニ出張セシム。進退録

東宮武官ノ差遣

十月七日、東宮武官鶴見數馬ヲ速射砲試驗發射ノ實況視察ノ爲メ千葉縣下志津原ニ、又十三日ニハ東宮武官名

目黒御遊覽

和長憲ヲ近衛師團小機動演習ノ實況視察ノ爲メ埼玉縣下ニ遣サルル命アリ。東宮侍從東宮武官日記・總務課進退録・官報  
十七日、午後一時御出門、御乗馬ニテ目黒祐天寺ニ行啓、歸途、目黒不動堂ニ御立寄アリ、五時二十分還啓アラセラル。東宮侍從東宮武官日記・官報・行啓録

御學業時間割改正

十九日、養ニ大患ニ罹ラセ給ヒテヨリ、専ラ御保健ニ重キヲ置カセラレ、自ラ學事ニ遠ザカリ給フ事月アリ、其ノ後、順調ニ御恢復アラセラルルニ及ビ、五月二十一日從來ノ時間割ヲ改メ二三十分間ヲ限り、修身學・明倫歌集・通鑑集要・近世史及ビ萬國地理ヲ進講セシメラレ



シガ、七月四日更ニ課目ヲ改メ柔軟體操。乘馬。佛蘭西語ヲ加フル事ニ決ス。尋イデ十月十二日ニ至リ宮中顧問官男爵橋本綱常。侍醫局長池田謙齋。どくとる。べるつ。侍醫岡玄卿等相協リテ、學科ハ毎日二時間、乘馬ハ隔日一時間、兵式體操隔日一時間ト定メ上申スル處アリ。東宮武官長男爵黒川通軌之ニ基ツキテ時間割ヲ作成セシメ、是ノ日之ヲ奏ス。直ニ勅許アリ。依リテ爾後之ニ據ラセラル。即チ時間割左ノ如シ。

東宮侍從東宮武官日記・東宮記

御日課表

自午前九時至同四十分	自午前十時至同四十分	自午前十一時至同四十分	自午後一時至同四十分	自午後二時至同四十分
------------	------------	-------------	------------	------------

圖書寮

東宮武官ノ更迭

土	金	木	水	火	月
	漢	修	漢	國	修
	文	身	文	文	身
	三島	三島	三島	本居	細川
	國	佛	作	佛	佛
	文	文	文	文	文
	本居	三田	三島	三田	三田
	佛	萬國	地	習	漢
	文	史	理	字	文
	三田	策	三田	杉	三島
武					
學	馬	操	馬	操	馬
操	術	練	術	練	術

二十九日、軍務局第一軍事課長陸軍歩兵大佐竹内正策ヲ東宮武官ニ轉補シ、東宮武官兼侍從武官陸軍歩兵大佐中村覺ノ本職ヲ免ジ侍從武官ニ專補ス。尋イデ覺ニ多年勤務ノ廉ヲ以テ金手釦壹組及ビ金百五拾圓ヲ賜フ。

官報・贈賜録

遺退録



學習院・帝國大學等ノ運動會台覽

三十日、午後一時御出門、學習院ニ於テ秋季運動會ヲ舉行スルヲ以テ、之ニ臨ミ諸技ヲ台覽、五時還啓アラセラル。此ノ後十一月一日ニハ農科大學ニ、同二十一日ニハ帝國大學ニ行啓、何レモ秋季運動會ヲ台覽アリ、夕景還啓アラセラル。 行啓録・官報

正親町實徳正親町實徳 舊去ニヨリ祭料ヲ賜フ

十一月二日、是ヨリ先、去ル十月三十日從一位勳一等正親町實徳病篤キニヨリ、御使東宮侍從丸尾錦作ヲ其ノ邸ニ遣シ存問セシメラレシガ、三十一日遂ニ薨ズ。依リテ是ノ日重ネテ御使東宮職御用掛醍醐忠敬ヲ遣シ、祭料金參百圓ヲ賜フ。實徳ハ明治十二年ヨリ同十九年ニ至

圖書寮

皇太后御違例ニヨリ侍臣ヲ遣タル

ル間、明宮御養育御用掛・明宮祇候ヲ勤仕セリ。 東宮侍從東宮武官日記・贈賜録・官報

八日、皇太后御違例ニヨリ御使東宮侍從稻葉正繩ヲ青山御所ニ遣シ、御病狀ヲ候ハシメラル。皇太后十二月五日ニ至リテ御撤床アリ、御使皇太后宮亮子爵高辻修長由ヲ啓シ、且ツ賜物ヲ上ル。仍リテ同六日東宮職御用掛醍醐忠敬ヲ青山御所ニ遣シ、御平癒ヲ慶賀セシメラル。 東宮侍從東宮武官日記・皇太后宮職日記

十五日、東郷重持・若林正行・關口源太等ヲ召シ、運動場ニ於テ弓術ヲ台覽、樞密顧問官男爵高崎正風。皇太



鴨獵御儀

后宮大夫子爵杉孫七郎以下十數名ニ陪覽ヲ賜ヒ、且ツ午  
 餐ノ立食ヲ賜フ。東宮侍從東宮武  
 官日記・典式錄  
 二十二日、午前七時御出門、南豐島御料地ノ内宇新宿  
 ニ行啓、鴨獵ヲ催サセラレ、午後二時還啓アラセラル。  
 後、十二月五日午前六時御出門ニテ依仁親王ヲ伴ヒ、東  
 宮大夫男爵黒川通軌以下ヲ隨へ、始メテ千葉縣新濱鴨場  
 ニ行啓、再ビ之ヲ催シ給ヒ、獲ル處小鴨十數羽。雁七十  
 餘羽ニ及ブ。午後五時還啓アリ、即チ狩獵ノ雁ヲ天皇・  
 皇后・皇太后ニ進獻アラセラレ、依仁親王以下ニモ之ヲ  
 賜フ。東宮侍從東宮武官日記・官報・行啓  
 錄・三島東宮侍講詩文・庶務課日記

鎮遠御見學

十二月七日、午前八時三十分御出門、東宮大夫男爵黒  
 川通軌・東宮侍從前田青莎・侍醫伊勢鏡五郎等ヲ隨へ横  
 須賀ニ行啓、逸見波止場ヨリ端船ニ乗ゼラレ、水ヶ浦ニ  
 御上陸、鎮守府ニテ午餐<sup>御</sup>後、軍艦鎮遠ヲ台覽アリ。同  
 艦ニ銀盃壹個ヲ、諸員ニ酒饌料ヲ賜フ。鎮遠ハモト清國  
 ノ軍艦ナリシガ、明治二十七八年戰役ニヨリ帝國ノ有ニ歸  
 シ、後、帝國軍艦ニ編入セラレタリ。午後四時九分横須  
 賀停車場御發車、六時四十分還啓アラセラル。東宮侍從  
 東宮武官  
 日記・官報・  
 行啓錄  
 二十二日、午後一時三十分御出門、青山御所ニ參候、

皇太后ニ謁  
セララル



沼津ニ御轉地

皇太后ニ謁シ來ル二十四日ヨリ沼津ニ轉地ノ爲メ請暇ヲ啓シ、三時二十五分還啓アラセラル。因ニ皇太后ハ明年一月四日以來御遺例ニ涉ラセ給ヒ、十一日遂ニ崩御アラセラレタルヲ以テ、今日ノ御謁見ヲ以テ最期ト拜セラル。又二十三日ニハ天皇。皇后ニ謁シ、請暇ヲ奏啓アラセラルル處アリ。東宮記・行啓錄・皇太后宮職日記・官報・侍從職日録

二十四日、午前六時五十分御出門、新橋停車場ヨリ汽車ニ御搭乘、沼津停車場ニテ御下車、午後零時五十分沼津御用邸ニ安著アラセラル。是ヨリ御滞在明年三月二十二日迄八十八日ニ及ベリ。其ノ間近郊ニ於テ遊獵ヲ催サ

供奉員

ルル事ナド概ネ前年ノ如シ。猶ホ供奉ヲ命ゼラレタル者ハ、東宮大夫男爵黒川通軌・東宮亮足立正聲・東宮侍從稻葉正繩・同丸尾錦作・同前田青莎・同子爵大迫貞武・東宮武官竹内正策・同鶴見敷馬・同名和長憲・同公爵鷹司照通・東宮侍講本居豐顯・同三島毅・同三田守眞・東宮職御用掛醍醐忠敬・侍醫池田謙齋・同桂秀馬・同伊勢鏡五郎・侍醫局勤務池邊棟三郎・東宮職出仕北小路清・同甘露寺受長・同海江田幸吉・同建部光麿・同子爵酒井忠勇・同子爵土屋正直等ナリ。此ノ外侍從子爵西四辻公業ハ聖旨ヲ奉ジテ供奉セリ。行啓錄・官報・遺退錄・侍從職日録



3202 099

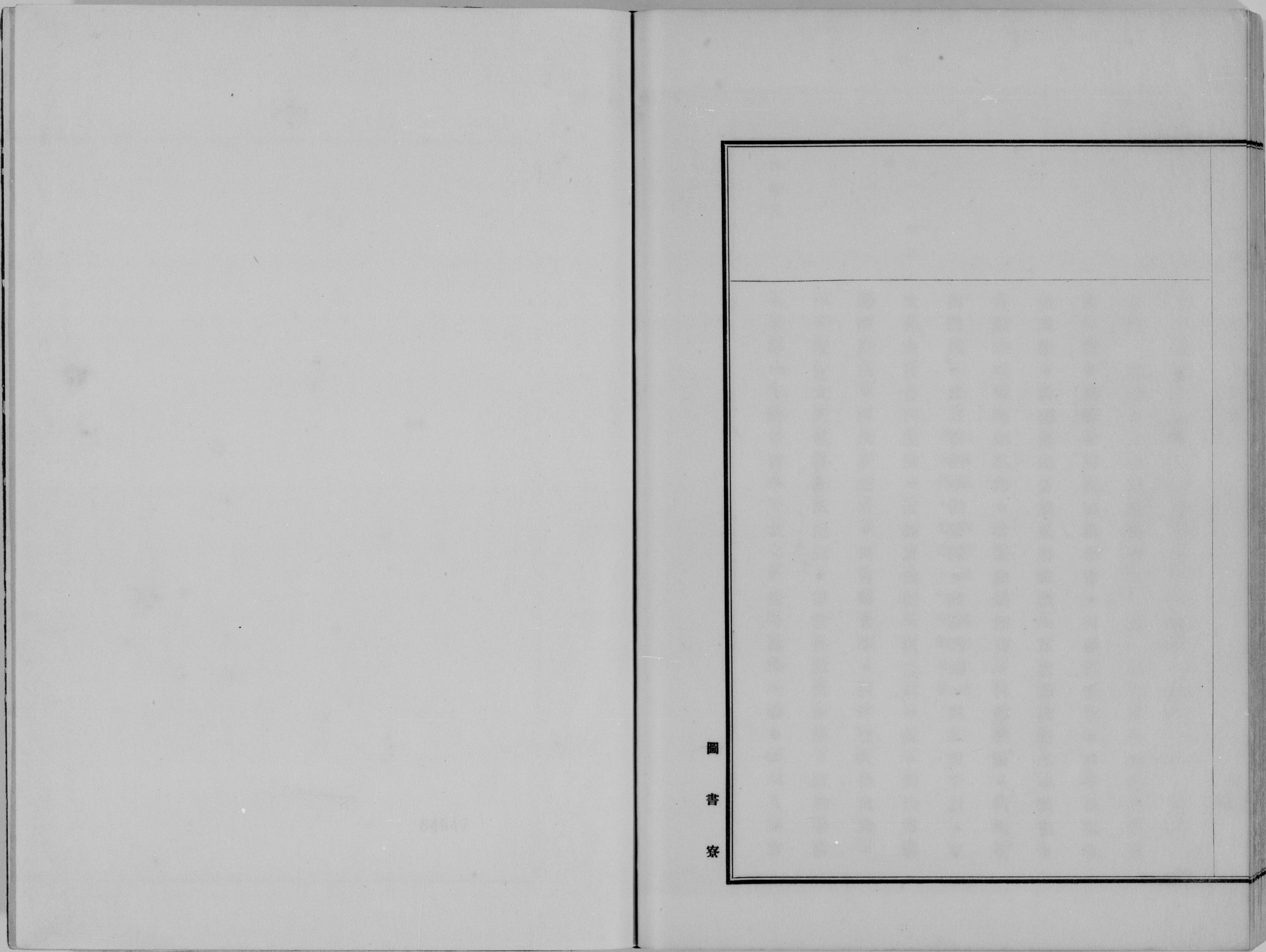


圖  
書  
寮



3202 100

64047



3202 101

